

2017年度 秋田大学 (前期)

医学部

試験時間：90 分

📖 全問必答

1 定数 a に対し、 $f(x) = \frac{2x}{1+x^2}$ 、 $g(x) = \frac{1-(x-a)^2}{1+(x-a)^2}$ とする。関数 $f(x)$ と関数 $g(x)$ が同じ $x = t$ で極大になるとする。次の問いに答えよ。

- (1) a の値と t の値を求めよ。
- (2) 関数 $y = f(x)$ のグラフと関数 $y = g(x)$ のグラフのすべての共有点の座標を求めよ。
- (3) $x \geq 0$ において、曲線 $y = f(x)$ と曲線 $y = g(x)$ で囲まれた図形の面積を求めよ。

2 n を自然数とする。次の問いに答えよ。

- (1) 8^n を 11 で割った余りが 3 となる n をすべて求めよ。
- (2) 11^n を 17 で割った余りが 4 となる n をすべて求めよ。
- (3) (1) の条件と (2) の条件を同時に満たす n をすべて求めよ。

3 xyz 空間に中心が点 $(0, 0, 1)$ 、半径が 1 の球面 S がある。球面 S 上の点 $N(0, 0, 2)$ と xy 平面上にある点 $P(a, b, 0)$ を結ぶ線分 NP が点 N と異なる点 Q で球面 S と交わる。さらに xy 平面上に 2 点 $A(2, 0, 0)$ 、 $B\left(0, \frac{1}{\sqrt{2}}, 0\right)$ をとる。次の問いに答えよ。

- (1) a 、 b を用いて点 Q の座標を表せ。
- (2) 点 P は直線 AB 上を動くとする。線分 NQ の長さの最大値とそのときの点 P の座標をそれぞれ求めよ。
- (3) 点 P が直線 AB 上を動くとき、線分 QP の長さは (2) で求めた点 P で最小になることを示せ。

2017年度 秋田大学 (前期)**医学部**

(略解)

☞ 証明, 図示などは省略

1

(1) $a = 1, t = 1$ (2) $\left(-2 - \frac{4}{5}, (0, 0), (1, 1)\right)$ (3) $\log 2 - \frac{\pi}{2} + 1$

2

(1) $n = 10k + 6$ (k は 0 以上の整数) (2) $n = 16l + 4$ (l は 0 以上の整数)
(3) $n = 80m - 44$ (m は自然数)

3

(1) $\left(\frac{4a}{a^2 + b^2 + 4}, \frac{4b}{a^2 + b^2 + 4}, \frac{2(a^2 + b^2)}{a^2 + b^2 + 4}\right)$ (2) 最大値: $\frac{6}{\sqrt{10}}$ $P\left(\frac{2}{9}, \frac{4\sqrt{2}}{9}, 0\right)$
(3) 証明は省略